

いばらき能

NOH@IBARAKI

紀州熊野の森深く
和歌に寄せて綴られる
神秘の物語

能
巻絹

MAKIGINU

狂言
棒縛

BOHSHIBARI

小笠原 匡

山本章弘

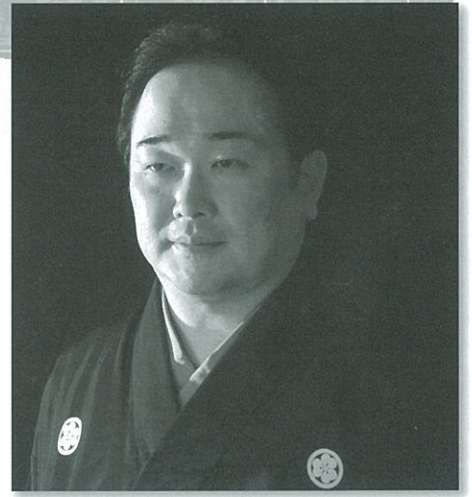
仕舞
屋島
山本章弘

YASHIMA



平成26年3月15日(土) 午後2時開演 / 茨木クリエイティブセンター・センターホール

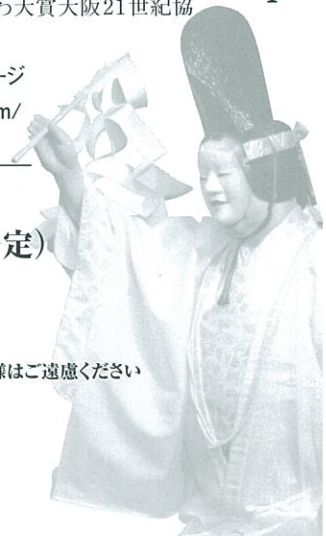
◆主催 公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆制作 公益財団法人山本能楽堂 / 三栄企画 ◆後援 茨木商工会議所 / 茨木市観光協会



山本章弘(やまもと・あきひろ)

昭和35年11月生まれ。幼少より父、故山本真義に師事し、昭和58年、故25世宗家親世左近に入門。昭和63年独立。現在26世宗家親世清和に師事。3歳にて初舞台。主な披曲は「石橋」「猩々乱」「道成寺」「望月」「翁」「安宅」「砧」など。海外公演は、米・ワシントン、インド、オーストラリア、イタリア、フランス等に参加。公益社団法人能楽協会理事。重要無形文化財保持者総合指定。日本能楽会々員。関西大学文学部卒業。関西大学能楽部顧問。観世流発祥の地・奈良県結崎にある川西小学校の総合学習の能楽講師をつとめるほか、「アートによる能案内」「能とあそぼう」など、子ども達へ能楽の普及に努める。公益財団法人山本能楽堂代表理事として、「とくい能」「上方伝統芸能ナイト」などの新事業を立ち上げ、あらゆる世代に向け新たな能の魅力を伝えるべく、積極的に普及活動を行っている。「大阪文化祭奨励賞」「なにわ大賞大阪21世紀協会賞」などを受賞。

●山本能楽堂公式ホームページ
http://www.noh-theater.com/



【能・狂言・舞 解説】

◆仕舞 屋島

山本章弘

壇ノ浦の戦いで名を馳せた源義経の霊が能登守教経との死闘の有様を物語る。
※仕舞とは、能の見せ所を装束を付けず、地謡のみで舞うものです。能の稽古の基本でもあり、絵画というデッサンに例えられます。

【お囃子解説】

◆狂言 棒縛

シテ・太郎冠者 小笠原 匡
アド・主人 泉 慎也
小アド・次郎冠者 山本豪一
後見 奥井智大

主人は最近、自分の留守中に召使いの太郎冠者と次郎冠者が酒を盗み飲んでいることに気付き、一計を案ずる。うまく両冠者の手を縛り上げると、ようやく安心して外出する。しかし残された二人は、それでも酒を飲みたい。悪戦苦闘しながらも、なんとか力を合わせて酒を飲もうとするのだが…。

◆能 卷絹

シテ・巫女 山本章弘
ツレ・都の使者 今村哲朗
ワキ・勅使 福王知登
アイ・勅使の下人 小笠原 匡
笛 赤井啓三
小鼓 古田知英
大鼓 辻 芳昭
後見 上田慎也
赤瀬雅則
前田和子
梅若基徳
井戸良祐
林本 大
山本麗晃

帝の勅命により巻絹を熊野三社に奉納することになり、都から巻絹を届ける使者(ツレ)は途中、熊野の音無天神へ詣で、梅が見事に咲いているのを見て和歌を詠んでいたため、遅くなる。そのため、熊野本宮で待っていた勅使(ワキ)のところに行くと、納期に遅れたことを理由に下人(アイ)に縛められてしまう。そのとき音無天神の霊が悪いた巫女(シテ)が現われ、使者が遅れた理由を説明し、証拠として、使者に詠んだ和歌の上の句を詠ませ、巫女が下の句を詠み、縄を解く。その後、天竺で釈迦が仏になったのは和歌のおかげであると和歌の偉徳を賛えて舞い、続けて勅使の求めに応じて祝詞をあげ舞うが、突然霊が去り正気に戻るのだった。

【見どころ】

曲名の「巻絹」とは、軸に巻き付けた絹の反物の意味です。難解な仏教用語が多く登場しますが、一種の呪文であり、ストーリーには直接関係はありませんので、細かい意味よりも巫女が神楽を奏しながら神懸かりの体を強めていく様子を楽しんでいただきたいと思います。使者が和歌を詠んだ音無天神は熊野本宮の近くにある神社。使者が和歌を詠んだ梅は鳥居の近くにあったようですが、明治22年の大水害で本宮の社殿が大損害を受けたときに、梅も被害を受けて伐採され、今は残らないとのこと。

茨木市文化振興財団第166回公演

平成26年3月15日[土] 午後2時開演(午後1時30分開場/午後4時30分終演予定)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

茨木市駅前四丁目6番16号072-624-1726/JR茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

[全席指定] 一般3,500円/65歳以上、障害者及びその介助者3,000円/青少年[24歳以下]1,000円*就学前のお子様はご遠慮ください

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き(この取り扱いは財団のみです)

◎ご購入後の割引変更についてはお問い合わせください

12月13日(金) 午前9時 インターネット・電話予約開始 残席がある場合は翌日から窓口販売いたします

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(茨木市市民会館ユアアホール1階 午前9時～午後5時) / インターネットチケット www.ibabun.jp
財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

ユアアホールチケットカウンター(午前9時～午後5時) / クリエイトセンターチケットカウンター(午前9時～午後5時)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。払込手数料はご負担願います。

払込確認後の発送となります。(払込口座)00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団

◆その他プレイガイド(12月13日店頭販売あり 午前10時～)

ローソンチケット0570-000-407(オペレーター対応)・Lコード予約0570-084-005(Lコード59147)*ローソンチケットの取り扱いチケットはローソン各店舗で直接購入できます。

電子チケットびあ0570-02-9999(Pコード433-345)*チケットびあの取り扱いチケットはサンクス、サークルK、セブンイレブン各店舗で直接購入できます。

能 NOH 体感講座～入門編「3・15いばらき能をより楽しむために・・・」

能について、3・15公演演目について、映像や謡の体験等もまじえ、観世流能楽師・山本章弘がやさしく楽しくお話しします

◆日時:平成26年2月1日(土) 午後2時～午後4時 ◆会場:茨木クリエイトセンター・多目的ホール

◆定員:150人(就学前のお子様はご遠慮ください) ◆受講料:500円【12月13日(金) 午前9時電話予約開始】

◆お申込み・お問合せ:(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係072-625-3055(午前9時～午後5時)

